

業況観測アンケート（2019年度 第1四半期）調査結果

（前年同期比）

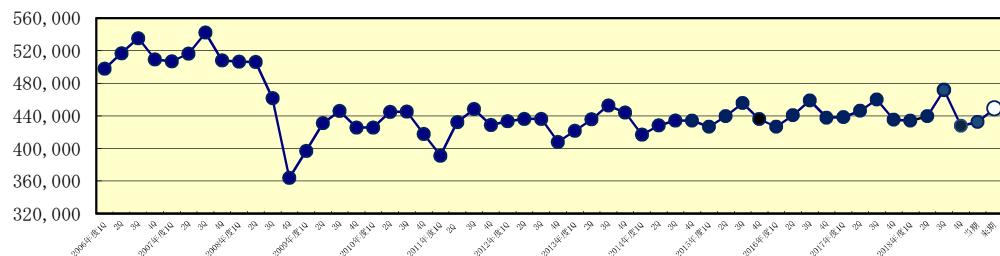
集計企業数 33社

2019/7/22

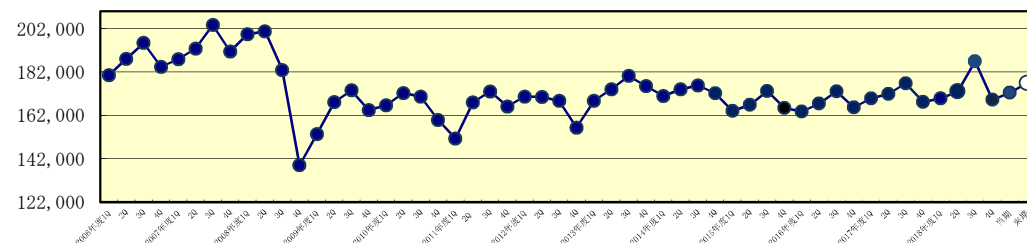
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+10%~+15%未満	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
+5%~+10%未満	0.7	0.0	11.2	1.6	0.1	9.8	9.8	0.7	0.4	0.9	0.4	1.4
+5%未満	15.4	15.1	5.8	24.6	26.9	10.6	11.0	11.1	13.1	14.4	10.6	10.5
± 0%	2.4	0.7	5.7	2.6	1.0	3.0	7.7	16.1	17.1	16.4	19.1	19.8
-5%未満	12.8	15.9	9.8	3.3	3.9	9.1	1.2	2.4	0.9	1.0	2.9	1.4
-5%~-10%未満	1.4	0.7	0.5	0.5	0.9	0.5	2.6	2.2	1.4	0.0	0.0	0.0
-10%~-15%未満	0.3	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向 (トン)



出荷金額動向 (百万円)



業種別動向観測アンケート（2019年度第1四半期）調査結果

2019/7/22

(前年 同 期 金 額 比)

集計企業数 31社

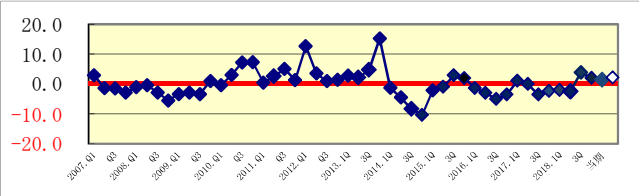
当期(4~6月)実績

建 築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気 機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィック ペイント
		新 車	補 修					
1.4	1.8	2.2	-5.7	0.9	0.7	-1.7	1.4	0.6

メーカーのコメント例

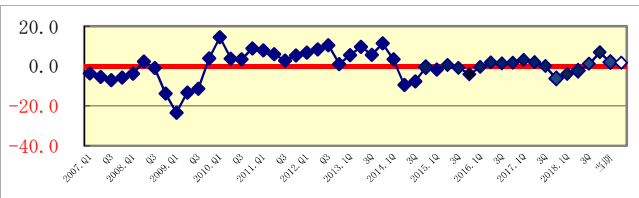
建築・外装

・全般に天候に恵まれ、大都市圏の集合住宅・戸建て等のリフォーム需要や工場等の改修は好調に推移。一方、地方は低調傾向が続く。また、東京五輪の建築需要はピークアウト感が出てきた。



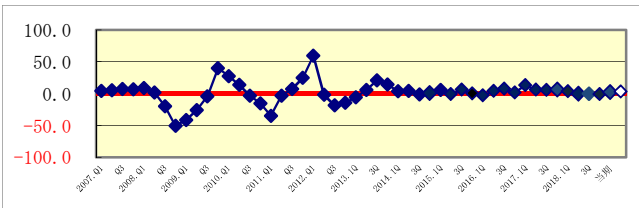
建築資材

・アルミ建材および窯業系建材は概ね堅調に推移。またカラー鋼板も非住宅用途の拡大が継続し堅調に推移。一方、貸家新設着工数の減少等により伸び悩むところもあった。



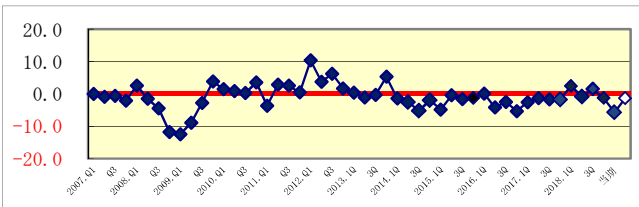
新車

・前年同期比で自動車生産台数は増加し、外板用塗料需要は好調に推移した。内装・部品向けプラスチック用において弱含むところも見られた。



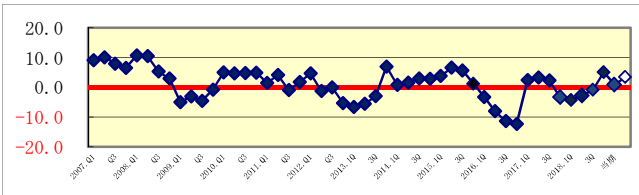
補修

・大型架装分野における需要は底堅いものの、ASV（先進安全自動車）普及等によるBP修理対象の入庫の減少傾向が続く。



船舶・構造物

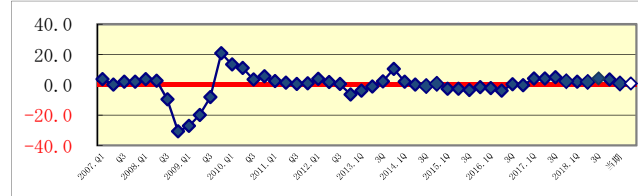
・新造船は前年並み、修繕船は好調に推移。構造物は軽防食分野を中心に民間需要が概ね堅調であったが、プラントや建築鉄骨向け等の大型案件は減少気味。



メーカーのコメント例

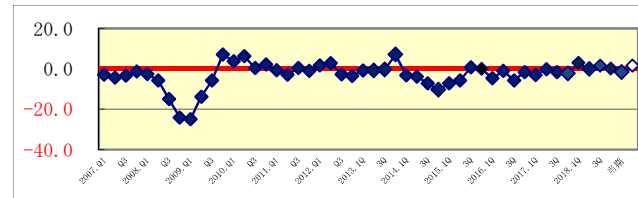
機械・電気機械・金属製品

・概ね前年度並みの推移であるが中国経済減速の影響が顕在化してきており、工作機械、建設機械等は低調だった。電気機器向けは好調を維持するところもあった。



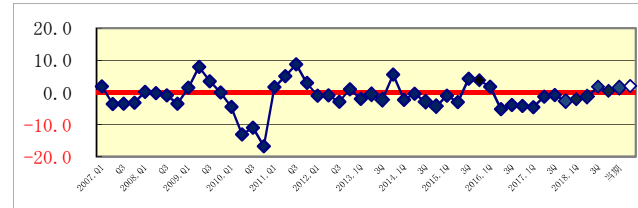
木工製品

・家具、木工用塗料の市場は厳しい状態が続いており、五輪需要への期待は既に終わった感がある。持家新設着工数に伸びがあるため今後の需要に期待。



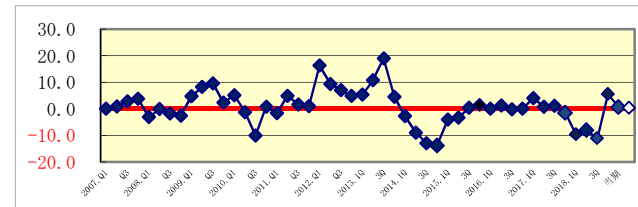
家庭用

・昨年に比べ天候は良好であったためDIY関連の塗料が伸びたところもあった。個人消費の伸び悩みが背景にあり、今後の消費増税の影響が懸念される。



トラフィックペイント

・昨年の自然災害や舗装用アスファルト価格カルテル不正問題で落ち込んでいた舗装工事が4月ごろから動き始めた。好調な出荷が戻ってきており、ほぼ例年並みの推移。



全体

・輸出向け需要分野については、米中貿易摩擦の影響により不透明な状況が続く。国内需要全般は消費増税前の駆け込みが目立った実感がないものの、概ね堅調な状況が続く。

◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。

◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

